

町田市民病院

vol.49
2021年夏号

クォーターリー



2021年7月から
耳鼻咽喉科に常勤医師が
着任しました

トピックス

- 診療科紹介「耳鼻咽喉科」
- 特集
「臨床工学科」、「治験支援室」
- Newborn 産後食
～リニューアルした産後食のご紹介～

<http://machida-city-hospital-tokyo.jp/>

診療科紹介

2021年7月に
常勤の耳鼻咽喉科医が着任しました

耳鼻咽喉科



2020年3月末に常勤の耳鼻咽喉科医が退任してから、1年3ヵ月の間、常勤の耳鼻咽喉科医が不在でしたが、2021年7月に町田市民病院に常勤の耳鼻咽喉科医が着任しました。

この度、耳鼻咽喉科の常勤医師として着任された、重田泰史医師にインタビューしました。

Q. 市民病院に来る前は？

A. 静岡県にある、医局の関連病院で8年間、部長として勤務していました。一般的な耳鼻咽喉科の手術は全て行っていました。悪性腫瘍の手術については、がんの専門病院へ紹介していましたが、甲状腺の悪性腫瘍については、手術を行うこともありました。

Q. 市民病院の耳鼻咽喉科では、どのような治療が受けられますか？

A. 一般的な耳鼻咽喉科の治療は全て対応可能です。現在は1名体制のため、緊急手術の対応は難しいですが、2名での体制が整えば、一般的な耳鼻咽喉科の手術には全て対応していきたいです。今年度中には2名体制になる予定です。

特に専門としている鼻の手術に関しては、内視鏡を用いた手術を中心に行う予定です。

悪性腫瘍の手術に関しては専門の病院へご紹介させていただきますが、甲状腺の悪性腫瘍に関しては、可能な限り当院でも手術を行います。

Q. どんな学生時代でしたか？

A. 小中高は、私立の一貫校に通っていました。小学生の時から電車通学で通学時間が長かったので、その時間を利用して本をたくさん読んでいた記憶があります。

また、子供のころから多摩地区に住んでいたの、町田市にはとても馴染みがあります。

Q. なぜ医師を目指そうと思ったのですか？

A. 父親が耳鼻咽喉科の医師として開業していたことが医師を目指したきっかけです。

父は自分と同じ大学の耳鼻咽喉科を卒業しており、兄もほかの大学出身ですが、耳鼻咽喉科の医師をしています。

Q. 耳鼻咽喉科医の家系なのですね。

——それで耳鼻咽喉科を選ばれたのですか？

A. 父親の影響もありますが、自分自身が中高生時代に2度、鼻の手術を経験したことも大きいです。手術は父親ではなく、父の先輩にあたる医師に行ってもらいました。現在、鼻を専門領域としていることのルーツでもあります。

Q. コロナ禍で耳鼻咽喉科の診療に変化はありましたか。

A. 耳鼻咽喉科はウイルスが多く付着する部位を扱う診療科なので、大きく影響を受けました。流行初期はファイバー検査や鼻処置が出来ませんでしたので、全国的に耳鼻咽喉科は閑散としていました。

新型コロナウイルスの予防方法が確立されてきたことで、現在は実施が可能となりました。市民病院でも必要な感染予防対策をとった上で、必要な検査や処置を行っています。

Q. 休日はどのように過ごされていますか？

A. 家族サービスが多いですね。今までは単身赴任が長かったので、家族と一緒に過ごす時間を大切にしています。

Q. 市民病院に来てよかったことはありますか？

A. 妻の手料理が食べられるようになったことですね。今までは単身赴任で食生活が偏りがちでしたので(笑)。市民病院に赴任して良かったことのひとつです。

Q. ご自身の健康管理で気を付けていることはありますか？

A. 今までスポーツクラブで運動することを習慣にしていたので、今後も感染対策を行いつつ継続していこうとは思っています。

Q. 最後に、今後の抱負をお願いします。

A. 市民病院では、今まで1年3か月の間、常勤の耳鼻咽喉科医師が不在で、その間、手術が出来なかったのが地域の皆様の期待の大きさを感じています。

今後は、手術を含めて耳鼻咽喉科領域の診療を行うことで、地域の医療に貢献できるよう努めます。



町田市民病院 耳鼻咽喉科医長

重田 泰史 (しげた やすし)

経歴

東京慈恵会医科大学卒

2021年7月から町田市民病院勤務

特集 臨床工学科

臨床工学科は、循環器内科部長を所属長として、臨床工学技士9名（常勤8名、非常勤1名）が24時間365日対応できる体制を整えています。

業務内容は、医療機器管理業務、血液浄化業務、循環器業務、心臓血管外科業務を主として行っています。それぞれの業務において各種認定資格（透析技術認定士・体外循環技術認定士等）を保有する臨床工学技士が安全かつ質の高い医療技術を提供できるよう体制を作っています。

■臨床工学技士とは

近年、医療技術の発展に伴い高度化した医療機器が開発され、より専門性が求められるようになりました。そこで医療機器を取り扱う専門職種として、1987年に誕生した医療国家資格が臨床工学技士です。

■医療機器管理業務

院内の医療機器を一括で集中管理し、点検、メンテナンスを行っています。また、病棟や手術室、集中治療室で使用中の機器に関しても巡回点検を行い、トラブル時にも迅速に対応できる体制を整えています。

また、院内職員に医療機器の説明会を開催し、操作法だけでなくトラブル対処法についても周知を行うことで、医療安全確保に努めています。

その他に、在宅で機器を使用する患者さんやそのご家族がご自宅でも安全に機器を使用できるよう丁寧な説明を心がけています。

■血液浄化業務

血液浄化療法とは、血液中の不要又は有毒な物質を取り除く治療方法で、腎臓内科医、看護師と共に、慢性及び急性血液浄化を行っています。



透析業務

慢性血液浄化では、人工透析室で透析導入期や入院中の透析患者さんに対して血液透析を行っています。また、急性血液浄化では、集中治療室（ICU）などで急性腎不全等に対する持続血液ろ過透析療法、潰瘍性大腸炎等に対する顆粒球除去療法、がんや肝硬変などで腹水がたまった患者さんに対する腹水ろ過濃縮再静注法などを行い、様々な疾病の患者様に対応しています。

■循環器業務

循環器内科医、看護師、診療放射線技師と共に、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患や不整脈疾患の治療に携わっています。虚血性心疾患では、心臓カテーテル検査・治療の際に機器の操作を行っています。治療中に容態が急変した場合には、心臓の機能を補助する大動脈バルーンパンピング法（IABP）や経皮的心肺補助法（PCPS：V-A ECMO）の操作も行っています。また、不整脈疾患では、ペースメーカーの植込み手術時の機器操作やペースメーカー外来でフォローアップなども行っています。



循環器業務

■心臓血管外科業務

心臓血管外科医、麻酔科医、看護師と共に心臓血管手術に携わっています。心臓や大血管（胸

部や腹部、足などの血管)の手術中の生命維持をする人工心肺装置の操作管理を行っています。

その他の手術中業務として、輸血を削減する目的の自己血回収装置や超音波血流測定、体外式ペースメーカー、不整脈治療装置などの周辺機器の操作も行っていきます。



心臓血管外科業務

■その他の業務

手術室では上記以外にも、生体情報モニターや麻酔器の管理を行っています。術中大量出血の場合は、自己血回収装置および急速輸血装置の操作なども行っていきます。

また、救急外来や集中治療室などで急性循環不全に対し、IABPやPCPS (V-A ECMO) の操作も行っていきます。

■コロナ禍の対応

当院は新型コロナウイルス感染症(以下、「新型コロナ」という。)の重点医療機関として、中等症までの患者さんを受入れています。

入院患者の症状が悪化した場合は、重症患者の受け入れを行っている医療機関へ転送することとなりますが、その間の対応として人工呼吸器の導入介助も行っていきます。更に病状が悪化した場合は、メディアでも取り上げられたECMO(エクモ)による治療を搬送完了までの間、行います。ECMOの操作を行える技士が少ないと言われていますが、当院には3名の体外循環技術認定士所持者がいますので、対応が可能です。

また、普段は専用の人工透析室で透析を行っていますが、新型コロナに感染した慢性腎不全患者さんが入院した場合は、新型コロナ患者専用病棟に透析装置を持ち込み病棟での透析も行っていきます。

■最後に

町田市民病院の基本理念である「地域から必要とされ、信頼、満足される病院」を実践すべく、多職種と連携をとりながら医療機器の安全管理に努め、専門能力のさらなる向上に研鑽し、患者さんに安心して治療をお任せいただけるよう医療の質の向上に貢献したいと思います。

✿ 新任医師紹介 ✿

①出身大学・卒年 ②趣味 ③メッセージ



耳鼻咽喉科 医長
重田 泰史

- ①東京慈恵会医科大学
1995年卒
- ②サウナ
- ③地域の医療に貢献できるように頑張ります。よろしくお願ひします。



外科 担当医長
根木 快

- ①東京慈恵会医科大学
2005年卒
- ②ゴルフ キャンプ
- ③町田市の医療に貢献できるように頑張ります。



外科
野田 祐基

- ①東京慈恵会医科大学
2012年卒
- ②スノーボード
- ③肺がんを主に扱う呼吸器外科を専門としております。



眼科 担当医長
吉嶺 松洋

- ①鹿児島大学
2007年卒
- ②映画鑑賞
- ③地域の皆様に貢献出来るよう尽力いたします。



泌尿器科
佐野 貴之

- ①杏林大学
2016年卒
- ②サウナ
- ③精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

特集 治験支援室

近年、新型コロナウイルスの出現等により、治験という言葉が私たちの生活により身近なものになりました。

治験は新しい薬やワクチンを世の中に出すために欠かすことのできない試験です。

患者さんの安全面での配慮、正確な効果の判定を行う事はもちろんですが、その薬を待つ方の為に早く行う事も要求されます。

当院の治験支援室では、患者さんに安心してスムーズに治験へ参加していただけるよう業務を行っています。

治験業務を大きく分けると「治験事務局業務」「CRC（治験コーディネーター）業務」があり、医師1名、薬剤師2名で行っています。

治験事務局業務

治験を実施するためにはさまざまな文書を作成し、治験審査委員会に提出して審議・報告しなくてはなりません。

当院では治験事務局を院内に設置し、治験担当医師と治験に参加される患者さんをしっかりサポートする体制を整えています。具体的には以下のような業務を行っています。

- ・ 治験審査申請手続き
- ・ 治験審査委員会（IRB）の運営
- ・ 治験の契約手続き
- ・ モニタリング対応



CRC（治験コーディネーター）業務

治験に参加いただく患者さんの意思を尊重し安心して安全に治験に参加できるように、院内での連携をはかりながら、信頼性のある治験実施を心がけています。主に以下のような業務を行っています。

- ・ 事前ヒアリングへの参加
- ・ 治験スタートのためのミーティング準備・調整
- ・ 同意説明文書作成補助
- ・ インフォームド・コンセント補助
- ・ 被験者のスケジュール管理
- ・ 有害事象発生時の対応
- ・ 症例報告書の作成補助、データ入力
- ・ モニタリング・監査対応

●あるCRC（治験コーディネーター）の1日●



8:30～	・ 本日来院の予定患者名や予約時間、検査、診察内容について確認 ・ 治験担当医、関連部署への連絡 ・ 治験依頼企業からのメール確認	10:30～	・ 医師への情報提供 ・ 治験薬の処方、次回来院日設定の補助 ・ 検査実施項目の確認
9:00～	・ 治験結果を報告するファイルの準備 ・ 評価項目の確認	13:00～	・ 治験依頼企業からのメール確認 ・ 本日来院した患者さんの検査結果確認、入力 ・ 患者記録、症例報告書作成 ・ 次回来院日確認 ・ 他のCRCとの情報共有
10:00～	・ 患者さんをロビーへ出迎え ・ 治験薬の服薬状況・残薬確認、回収 ・ 他院で治験結果に影響を与える薬をもらっていないか確認 ・ 治験薬で副作用が出ていないか確認 ・ 治験内容の説明補助 ・ 併用薬変更の有無確認	13:00～17:15	・ 本日の検査検体送付 ・ 翌日の患者対応準備 ・ 翌日の検査キット準備 ・ 翌日来院予定の患者さんへ電話確認

治験の用語について少し勉強してみましょう

●併用禁止薬

治験薬と一緒に使用することが禁止されている薬剤。

併用すると薬物相互作用により治験薬の効果が増強または減弱してしまったり、副作用が出てしまう可能性を回避するために設定されます。

●CRC

治験コーディネーター (Clinical Research Coordinator) の略で、治験の調整役。

治験実施医療機関において、治験責任医師または治験分担医師の下で治験に係る業務に協力する薬剤師、看護師、その他の医療関係者。

●治験参加カード

治験に参加されている患者さんが当院以外に受診や薬局で薬を購入する際に提示できるよう携帯していただくカードです。

緊急時の連絡先として当院名や治験実施診療科名、治験責任医師・分担医師の氏名、治験薬、併用禁止薬等の情報がこのカードには記載されています。

このように、当院では治験支援室所属の医師、治験専門の薬剤師を置くなど、万全の体制を整えて治験が実施されておりますので、安心して治験にご参加ください。

2020年度 市民公開講座

リモート開催

3月15日開催 子どもと新型コロナウイルス

小児科 皆川 優納

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、2019年12月に中国の武漢市で初めて人への感染が報告され、2020年3月11日に世界保健機構 (WHO) からパンデミックに至っているとの認識を示されました。日本でも2020年1月15日に最初の感染者が報告され、現在も患者数は増加し続けています。国内の発生状況ですが、感染者数は10歳未満・10歳代では少なく20歳代で最も多くなっています。人口統計と比較しても20歳代で多くなっています。

感染症とは、ヒトの身体に害をもたらす病原体が、ヒトの身体内に侵入し増殖することで引き起こされる病気で、ウイルス・細菌・真菌・寄生虫などが原因となります。感染様式には接触・飛沫・空気感染などがありますが、COVID-19は飛沫感染+エアロゾル感染で感染します。潜伏期は1～14日間で、曝露から5日程度で発症します。

COVID-19が小児に感染しやすいかについてですが、先の述べたように10歳未満・10歳代で人口統計と比較しても感染者は少数です。各国 (イギリス、サウジアラビア、中国、バングラディッシュ、南カリフォルニア) での小児の感染者の割合も10%未満と少数を占めています。検査陽性者数が増加するにつれ小児の検査陽性者数が増加してきていますが、少なくとも成人よりも罹患しやすくはないといえます。

次は小児でCOVID-19が重症化しやすいかについてですが、厚生労働省から報告されている国内の重症者割合と死亡率は、20歳以下の年齢においていずれも報告されていません。各国 (イギリス、中国、インド、ブラジル) からの報告でも半数以上が無症状から軽症で、重症例は認められなかった地域もあります。死亡例においても重篤な基礎疾患を合併していることが多く、小児では成人と比べ無症状もしくは軽症が多いことが示されています。

最後に気管支喘息患者のCOVID-19への罹患しやすさ、重症化についてです。国立研究開発法人国立成育医療研究センターからの報告ですが、COVID-19と一般集団の気管支喘息の有病率を比較した際に、気管支喘息の有病率は一般集団で8%程度であることに比較し、COVID-19では5.3%と低く、COVID-19では喘息の割合が少ないことが示されています。重症度への関連については、COVID-19では慢性閉塞性肺疾患や糖尿病は重症患者で合併が多くなっていることに比べ、気管支喘息は軽症・重症患者で合併に有意差は認められませんでした。

小児では成人と比較し無症状、軽症が多く、罹患率も高くはありませんが、接触感染予防策を今後も継続することが必要と考えられます。



市民公開講座の動画はこちらをご覧ください

<https://www.youtube.com/watch?v=vZuDSGZygl>

臨床検査科が精度保証施設認証を受けました

精度保証施設認証とは、日本臨床衛生検査技師会が行っている標準化事業の一環で、以下を満たす施設を認証している制度です。

- ・ 検査精度が十分に保証されている
- ・ 検査法等の標準化に取り組んでいる
- ・ 人材育成に対して積極的に取り組んでいる

今後も引き続き、病気の診断に役立つ、標準化された精度の高い検査を提供していきます。



Newborn 産後食

～「ご出産おめでとうございます！」の気持ちをこめて～

2021年2月より、産後のお食事内容をリニューアル致しました。

これまでの一般の患者さんと同じ内容のお食事から、産後のお母さんに必要な栄養を考慮しつつ、盛り付けやスイーツにもこだわった特別なメニューになっております。

お食事の時間が癒しの時間となりますよう、今後もさまざまなメニューを取り入れてまいります。



写真の献立

ビビンバ風丼
花麩とみつばのすまし汁
ささみときゅうりの冷奴
なすの煮びたし
青リンゴゼリーフルーツのせ

町田市民病院では、妊娠から出産後の育児まで、お母さんと赤ちゃんのサポートを行っています。
詳しくは、町田市民病院産科ホームページをご覧ください。



町田市民病院産科ホームページはこちらをご覧ください
<https://machida-city-hospital-birth.jp>



スマートフォン
サイトはこちらへ

編集・発行：町田市民病院
〒194-0023 東京都町田市旭町2-15-41
TEL：042-722-2230 (代)
<http://machida-city-hospital-tokyo.jp/>